

## 利用者及び各施設の現状についてのアンケート

後志知的障がい児・者家族会連合会(8月14日集計)

【設問1】 コロナ禍で、利用者帰省についてお聞きします。

該当する項目の( )に○印をお願いします。

(○)① この1年間以上帰省はしていない→2件

(○)② 今年の正月は帰省できた→2件

(○)③ 今年のお盆から帰省ができる→4件

(○)④ 今年のお盆も帰省はできない→1件

(○)⑤ その他(今後の見通し等)→3件

・感染対策にご協力・ご理解の上、今年の正月も規制できた

・感染対策にご協力・ご理解の上、今年のお盆も規制できる

・子供の障害が重く、妻も亡くなり、自分一人では対応が出来ず、札幌の娘と世話をしているの  
で、お盆の帰省は出来ない。なお、1ヶ月~3ヶ月に1回ほど面会に行っている

【設問2】 コロナ禍で、利用者との面会で何か工夫していることがありましたら、お知らせ願  
います。(例:リモート面会等)

・Zoomを活用して面会を行っている。

・居住棟への立ち入りは禁止とし、管理棟相談室での面会としている。但し、緊急事態宣言発  
令中は、原則中止としている。

・生活棟より離れた別棟で1対1、短時間で距離を保ち実施

・リモート面会

・施設内の個室にて、感染対策(検温・消毒等)にご協力・ご理解の上実施

【設問3】 利用者及び職員のワクチン接種についてお聞きします。(○月○日現在)

該当する項目の( )に○印をお願いします。

( )① 利用者及び職員は65歳以上で接種した(1回だけでも)

(○)② 利用者は65歳以上、入所施設職員は全員接種した(1回でも)→1件

(○)③ 全利用者、全職員は接種を終えている。(1回でも)→6件

( )④ 65歳以上の利用者及び職員は、これから接種をする(1回でも)

(○)⑤ その他

・7/23現在、利用者及び職員全員が2回接種した。

【設問 4】 コロナ禍で、家族会として利用者及び職員に励ましの事業（活動）をした事例がありましたら、お知らせ願います。

- ・父母会長からの励ましの挨拶文を各家庭に郵送している。
- ・施設内での昼食会の経費負担
- ・事業活動の実施等、縮小に協力した。

【設問 5】 各施設の感染予防対策について重点をおいていること、また、万が一に備えて特に準備をしていることがありましたら、お知らせ下さい。

- ・感染症対策マニュアルの作成と周知を行っている。
  - ・パーティション等を利用しての個人の空間の確保
  - ・徹底した消毒と職員の行動自粛
  - ・今春に、別棟（プレハブ）で、一時隔離棟の新設（水道・トイレ付。収容人員 2～3 人）
  - ・検温・手指消毒。外出自粛・制限。感染予防訓練
  - ・帰省中は毎日検温を実施（チェック表に記載）
- 帰省中の外出・外食・公共機関の利用は最低限に抑え、外出時はマスクの着用。帰宅時は手洗い・消毒の徹底。混雑の時間を避ける。外出した際の場所・時間・家族以外の接種者を記載する。帰宅時は利用者家族の体調を確認する

【設問 6】 道家連の全施連に対するスタンスについて、ご意見を伺いたと思います。

道家連は、全施連に対して下記のようなスタンスを取り、この 1 年をかけて、地区家族会の意見を聞きながら役員会で話し合い、来年 5 月の道家連総会で決定する計画になっています。

<道家連の考え方>

- ・結論：道家連は、全施連から退会し、「きょうされん」及び「手をつなぐ育成会」の賛助会員となり、よりよい関係を築き上げ、全国的な要望活動も実施していくようにしたい。
- ・理由：全施連は 2023 年度より北海道の会費、現行約 19 万円から大幅な値上げを考えている。（2021 年度の社員総会では、会員の減少等で再検討課題となった）
- ・全施連の役目は、各地区からの要望をまとめ国や政府に対して要望活動をすることと考えるが、全施連は、各都道府県の要望活動は各都道府県が行えば良いとの判断である。
- ・それならば、高い会費を納入して全施連の会員でいる必要がないと考えている。
- ・どうしても全施連とのパイプが切れないと考える家族会は、施設単位の家族会賛助会費（現行 3,000 円）を納入し、全施連の賛助会員となることができる。

- ・検討させていただきます。
- ・道家連の考え方に賛成いたします。
- ・道家連の考え方・結論に賛成します。